

ICS301 課題探求プロジェクトⅢC

4年 1,2クォーター

担当教員	LEHNER ALBERT JOSEPH JR, 木原泰紀, 松田和之, 皆島 博, 細谷龍平, JANNUZI CHARLES EDWARD, KING KELLY JEAN, 永井崇弘, 今井祐子, 磯崎康太郎
授業形態	演習
アクティブ・ラーニング	アクティブ・ラーニング科目
単位数	2
曜日・時限	水曜日・3～5時限

授業概要

3年次後期に留学を終えたグローバルアプローチを選択する学生を対象として、留学中の各自の設定した探求課題を踏まえて、外国人との共生や地域資源の海外発信を地元コミュニティや自治体の観光関連部局に提案するプロジェクトを実施する。

到達目標

- (1) グローバル化の中で地域が直面する課題について、海外での経験や学びを踏まえて構造的に理解し、具体的な課題の解決に向けて貢献するための調査・分析を実施する。
- (2) 具体的な課題の解決方法について、社会人と共に協働で取り組み、成果を地域に還元する。

先修科目

課題探求プロジェクトⅠ・Ⅱ, 海外留学
※同時並行で学ぶ科目：多文化理解科目の各科目

教科書・参考資料等

全体に関わる教科書はない。
連携先や課題に応じて適宜文献を紹介する。

授業の方法

教室でのグループワーク、レクチャー、および学外での活動への参加、および調査を中心とする。活動や調査の事前準備・事中の打合せ・事後の総括のため、授業が行われない週、あるいは空き時間に学生はグループで集まり議論や作業を行う必要がある。

成績評価

活動途中、および最終プレゼンテーション後に提出するレポートおよび、取り組みへの態度に関する学生間のピアレビュー・教員や連携先による観察評価

成績

- 80% レポート
- 20% 取り組みへの態度に関するピアレビュー・観察評価

授業スケジュール

(1回の授業は、隔週1回2コマ連続を原則とするが、実施が1日にわたる場合ないし土日に実施される場合がある。また、授業の予定されていない週については、学生が事前準備や事後討論のためのグループワークを実施するほか、テーマごとに相手先の都合も配慮して弾力的に授業日を変更する)

第1回：プロジェクトの企画

留学の際の各学生が取り組んだ探求課題について報告し、それを踏まえて取り組むプロジェクト企画を設計する。

第2回：連携先との協議

企画したプロジェクトに関する連携先と、具体的な提案を行うための取り組みの詳細について協議する。

第3～4回：実地ヒアリング

提案に必要なヒアリング調査を設計し、実施する。

第5回：ヒアリング結果の中間報告

連携先にヒアリング結果を中間報告し、講評を受け、追加調査の検討を行う。

第6回：提案の検討

分析を踏まえて具体的な提言を検討する。

第7回：連携先での報告

連携先やその利害関係者を相手に報告し、講評を受ける。

第8回：最終報告会（年度末に実施）

連携先での報告の際の意見を参考に改善提案を再検討し、地域連携協議会（仮称）のメンバーも交えた全体報告会で報告する。

事前・事後学習

- ①各回の授業で指示された内容について、個人およびグループで調査および討議を行い、次回の授業の準備を行う。（予習）
- ②最終レポート作成に備えて各自毎回の授業および活動の振り返りを行う。（復習）